



平成30年12月21日
小田原市立東富水幼稚園
園長 久保寺 佳香

楽しかった第2学期も今日で終わりです。一生懸命に走った運動会、友達と初めてバスに乗ってでかけた遠足、クラスみんなで力を合わせて作りあげた生活発表会など、その時々の子どものキラキラとした笑顔が心に刻まれています。保護者の皆様と共に、一人一人の小さな成長を喜び合えたことを大変嬉しく思います。いつも温かく見守っていただき、たくさんのご協力をありがとうございました。

<幼稚園教育目標>

心身ともに健康で人間性豊かな
子どもの育成

東富水幼稚園では、次の3つの姿をもつ子どもを<目指す子ども像>として、子どもの育成に努めています。

- 健康で明るい子
- 思いやりのある豊かな子
- 自分で考え行動できる子

季節を感じながら…

その1

サツマイモの収穫をしました。

年長組が「さあ行くぞ！」と勇んでのびのび畑へ向かいました。今年は猛暑で日照りが続き、その影響がどう出るかととても心配だったのですが…。

実際に掘ってみると、子どもたちが大切に育ててきたサツマイモだけあって、丸々と太った大きなものが次々と顔を出しました。

「ここに大きなお芋があるよ。でも、土から出てこない。」「じゃあ、一緒に掘ってあげる。」「〇〇ちゃんのお芋、すごく大きいね。」「一人じゃ重くて持てないよ。」「じゃあ、手伝ってあげるね。」など会話を楽しみながら、友達と力を合わせ泥んこになって収穫しました

それだけではありません。収穫したサツマイモの蔓は、子どもたちの遊び道具に変身！見事に絡んだ蔓の重さを感じながら「よいしょ！」「よいしょ！」と引っ張って、次から次へと楽しい遊びが始まりました。蔓を伸ばして綱引き大会。1本ですぐにちぎれてしまい、あちらこちらですってんころりん…大笑い！

子どもは遊びの天才ですね。その発想の豊かさに感心させられます。



その2

朝、正門のところで受け入れをしていると、子どもたちがにこにこしながら嬉しそうにやってきました。その小さな手の中には、大きな松ぼっくりがひとつ。「見るだけね。」と宝物のようにそっと見せてくれました。どうやらそれは、担任へのプレゼントだったようです。なるほど、確かに“見るだけ”です。

また、ある時は「昨日おでかけして、いーっぱい見つけたよ。」と袋の中にたくさん入ったドングリを嬉しそうに持ってきてくれる子もいました。「何に使うの？」と尋ねると、「お友達とみんなで使うの！」と満面の笑顔。友達と遊ぶことが本当に楽しいといった表情でした。(そのドングリは、子どもたちの遊びの中で“マラス”や“転がしゲーム”になったようです。)



子どもたちが、松ぼっくりやどんぐりを拾いながらたくさんの発見を楽しんでいる姿が目には浮かびます。そんな姿を、隣で微笑みながらじっくり付き合ってくださっている家族の方の姿も感じられ、なんだか私の心も和みました。**素敵なしと時**ですね。

幼稚園では、秋風に誘われて、何度となく園外散歩にでかけます。青い空、まっすぐに伸びたひこうき雲、赤や黄に色付く桜の葉、河川を泳ぐ大きな鯉、頬をすり抜ける心地よい風…。幼稚園の周りには、心をわくわくさせてくれるものがたくさんあります。『美しいものを美しいと感じる心』『豊かな自然を楽しむことのできる感性』を持ち続けてほしいですね。そのためにも、**子どもの話に耳を傾け、まっすぐに子どもと向き合っていこう**と職員の中でも話しています。

親子で手をつなぎ、ゆっくりと歩けるのも幼児期が多いのでしょうか。そんな時間を大切に、お子さんと一緒に素敵な宝物をたくさん見つけてください。その経験は、きっと子どもたちの感性を育み、知識や意欲になって心の中でいつまでもキラキラと輝いてくれることでしょう。

子どもと楽しむ絵本の時間

絵本の読み聞かせのご協力をありがとうございました。これは、泉中学校区三校一園で、家庭学習への取り組みを啓発しようという意図から、昨年度から始まったものです。

幼稚園では、親子のふれあいの時間を通して“絵本”に親しんでほしいと願い、絵本の読み聞かせ週間を設けました。いかがでしたか？

後日、皆さんの感想を読ませていただきました。忙しい時間を割いて子どもたちの反応を細かく記録していただいたり、家の人の感想も記入していただいたりなど、とても有意義な時間になっていたように感じました。

絵本を読んでもらえるのは、一生のうちでもこの短いひと時だけ。**絵本とのふれあいが、子どもたちの新しい世界を広げ、心を豊かにしています。**このかけがえのないひと時を、親子で一緒に楽しみながら過ごしてみてください。

<ひよこ組 読み聞かせ BEST5>

- 1 おふろにはいるときは
- 2 ぐいとぐら
- 3 はらぺこあおむし
- 4 おおきなかぶ
- 5 ほくしらないよ

<すみれ組 読み聞かせ BEST5>

- 1 おふろにはいるときは
- 2 ことば忍法オノマトペ
- 3 ほくしらないよ
- 4 ママがおぼけになっちゃった
- 5 わにわにシリーズ

『おふろにはいるときは』と『ことば忍法オノマトペ』の絵本は、子どもたちのためにと日本新薬さんがくださったものです。活用していただきありがとうございました。『はらぺこあおむし』や『おおきなかぶ』は、ひよこ組が大好きなお話です。生活発表会でも出てきましたね。家庭でもたくさん読んでいただいたことでイメージも膨らみやすかったのでしょうか。みんなで考えを出し合い楽しみながら生活発表会の表現につなげていきました。

おすすめの1冊

『いのちをいただく ～みいちゃんがお肉になった日～』

先日、本屋に行ったときに、ふと手にした絵本がとても印象的でした。読んでいるうちに涙が溢れそうになりました。

主人公は、小学3年生の男の子をもつおとうさん。牛の屠殺場で働いています。“いのちをいただく”とはどういうことなのか…実話に基づいて描かれています。幼児には少し難しい部分もあるかもしれませんが、感受性豊かな子どもたちの成長を感じながら繰り返し読み聞かせてほしい一冊です。



保護者ボランティアによる“絵本の読み聞かせ”が始まりました。お母さんたちの心のこもった読み聞かせを、子どもたちは毎回楽しみにしています。**只今、ボランティアの方、大募集です！** 保護者の方の大好きな1冊を読んであげてください。お待ちしております。



愛おしさを感じながら…



11月の終わりに、カメのリボンちゃんとメロンちゃんが冬眠しました。当番の子どもがやってくると、可愛い顔をのぞかせて口を開け、餌を催促する姿が愛らしく、みんなが声をかけてくれましたね。季節の流れとはいえ何だか寂しい気がします。

冬眠に入る前には、お腹の中にたまった便をすっきりとさせ、たくさん食べていた餌にも食いつかなくなりました。動きも鈍くなり「もう眠いんだね。」と子どもたちもカメの変化に気付き、冬眠用の葉っぱを集めてくれました。今は、桜の葉の布団の中で、ぐっすりと眠っています。

時間をかけ愛情をもって大切にかかわる経験が、子どもたちの心の育ちにつながっていることを、毎日観察する姿からも感じ取ることができます。

この次、リボンちゃんとメロンちゃんに会えるのは、みんなの進級・進学の時期でしょうか？それまでゆっくりお休みなさい。

引き取り訓練

★引き取り訓練の際には、危険箇所や安全な道のり等を親子で考えながら真剣に取り組んでいただき、ありがとうございました。

幼稚園では、地震に備え、「落ちてこない」「倒れてこない」場所を見つけ、自分で身を守ることを習慣づけています。

家庭では、『日常備蓄』（水や食料品など、普段使うものを多めに買っておくこと）や『家の中の整理整頓をし、安全な場所を確保すること』が大切だといわれています。

★「入園のしおり」を繰り返し見直していただき、災害時における対応や心構えについて、家族で話し合っておきましょう。

津波合同避難訓練

★地震発生後、津波警報が発令されたという想定で東富水小学校と合同で、同日同時刻に訓練をしています。（幼稚園は小学校3階の図書室まで避難しました。）訓練後、校長先生より、7年前の東日本大震災発災時、宮城県の大川小学校では、高い所への避難が遅れ、たくさんの命が奪われたこと、酒匂川が決壊したら同じような災害が起こりうることを教えていただきました。

★1回1回の訓練に真剣に取り組む、自分で身を守ることの大切さを伝えていきたいと思えます。

子ども達の命を守るために できること

防犯教室

★神奈川県暮らし安全交通課の方をお招きし、防犯教室を実施しました。不審者対応として『4つの約束』を教えていただきました。

- ① 出掛けるときには行き先を言う
（どこに行くのか・誰と遊ぶのか・何時頃帰るのか）
- ② 一人では遊ばない
- ③ 知らない人には付いていかない
- ④ 怖いときには大声を出して逃げる

★幼稚園でも“元気なあいさつ”を心掛けていますが、大きな声であいさつができる子は、大きな声で助けを求められる子だと思われ、悪い人に狙われにくいという話がありました。

大きな声であいさつをすることは、自分の身を守ることに繋がります。ぜひ、習慣付けていきたいものですね。

★“サングラスに黒の帽子、マスクをかけている人”と“スーツを着た優しい人”では、どちらが怪しい人（不審者）でしょうか？という問いに、多くの子が前者を選びました。**人は見かけでは判断できません。**知らない人が付いてくるようなことがあったら、すぐに「交番」「スーパー」「コンビニ」「子ども110番の看板がある家」など、**大人の人がたくさんいるところに逃げる**よう指導がありました。

★ぜひこの機会に、お子さんと一緒に、目印になる看板やお店などを確認してあげましょう。

おいしそうなお弁当みつけた！

お弁当は何色ですか？

色が多いとおいしそうですね。

彩りが5色（白・赤・緑・黄・茶など）以上そろってれば、見た目からとても美味しそうなお弁当になります。また、量はちょっと少なめにしてあげましょう。「食べきった！」という達成感を子どもが味わうことが大切で、自信にもつながります。普段、食卓で使っている子ども茶碗1杯分を目安にして、お弁当箱の中でご飯とおかずが“5対5”の割合くらいがよいそうですよ。



心のつながりを感じながら…

“小学校での給食体験”や“幼稚園の子ども同士見る会への招待”をきっかけに、小学生との交流が始まりました。始めのうちは、どう接してよいのか戸惑っていた様子でしたが、お兄さんやお姉さんに優しく接してもらい、いつの間にか体をゆだねて小学生の膝の上に乗っている子どもも…。どの子どももすぐに仲良しになりました。小学生と心の距離を縮めるには、それほど『時間』はかからなかったようです。

これから、年長組はいろいろな場面で小学校の話題が出ると思います。

でも**焦らず慌てず…**。子どもたちは、遊びや生活の中で、**どんな課題にぶつかっても友達と考えを出し合って乗り越えようとする力**がついてきました。その力が小学校での学習する力となっていきます。自分の力で頑張っている姿をたくさん認めていただき、子どもたちがどんなことにも自信をもって取り組んでいかれるよう見守ってあげましょう。



冬休みを前に…

明日から冬休みに入りますが、第3学期は、進級・進学に向けて心と体の準備が大切な時期になります。今までの生活を崩さないように心掛け、おだわらっ子の約束にもあるように『**早寝・早起きをして朝ごはんをしっかりと食べる**』習慣が身につくように環境を整えてあげましょう。

また、冬休みは子どもたちにとって家族の一員として力を発揮できる絶好のチャンスです。幼稚園でも、弁当の前には、台ふきを絞ったり自分のコップに白湯を注いだりしています。**何事も経験**です。『失敗は成功のもと』といわれるように、**失敗から学ぶ**ことがたくさんあります。子どもたちが自分の力でできるよう役割を決め、責任をもって取り組むことができるような内容を考えてあげましょう。

そして、それができたときには、たくさん誉め一緒に喜んであげてくださいね。
新しい年にひとまわり大きくなった子どもたちに会えることを楽しみにしています。

来年も、夢と希望にあふれた一年でありますように！



子どもたちの園生活の様子は【幼稚園のホームページ】で紹介しています。
【小田原市立東富水幼稚園ホームページ】で検索してみてください。